

東京都は、「東京都平和の日条例」で、3月10日を「東京都平和の日」と定め、平和の意義を確認するとともに、平和意識の高揚を図るため、記念行事を実施しております。

令和4年度は、令和5年3月10日、東京都庁において「第33回東京都平和の日記念式典」を開催いたしました。

記念式典の冒頭に東京大空襲をはじめ戦災で亡くなられた方々を追悼し、世界の恒久平和を願って黙とうを行い、厳粛な雰囲気の中で式典が執り行われました。

式典に引き続き、東京都交響楽団による記念演奏を行い、「追悼と平和への祈り」の気持ちを新たにしました。

また、記念行事の一環として、東京芸術劇場、府中市市民活動センター・プラッツ、町田市生涯学習センターにおいて、「東京空襲資料展」を開催いたしました。


本報告書は、今回の東京都平和の日記念行事についてまとめたものです。本書が平和の大切さを確認していただくための一助となれば幸いです。

結びになりますが、今回の東京都平和の日記念行事の実施にあたり、御協力をいただいた皆様に心から御礼を申し上げます。

令和5年3月
東京都



はじめに	1
第一章／記念式典	3
概要	4
主催者挨拶 東京都知事 小池 百合子	6
東京都議会議長 三宅 しげき	7
来賓挨拶 駐日外交団長	8
駐日サンマリノ共和国特命全権大使 マンリオ・カデロ閣下	
東京空襲被災者代表 小峰 光弘様	10
式典風景	11
記念演奏	14
第二章／普及啓発	19
告知	20
第三章／関連事業	23
東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑	24
「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」花壇デザイン画募集	25
東京空襲資料展	30
東京空襲資料展 チラシ	32
東京空襲資料展 展示品一覧	34
東京空襲写真パネル展示	39
第四章／資料	41
アンケート用紙	42
アンケート集計結果	43
東京都平和の日条例	48
東京都民平和アピール	49



第一章
記念式典





概 要



第33回東京都平和の日記念式典

- ◆日時 令和5年3月10日(金)
午後2時～午後3時15分
- ◆場所 東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場
- ◆プログラム 午後1時00分 開場・受付
午後2時00分 記念式典
午後2時30分 休憩
午後2時45分 記念演奏

※インターネット中継(東京動画)を実施

式次第

◆黙とう

◆国歌奏楽

◆主催者挨拶

東京都知事	小池 百合子
東京都議会議長	三宅 しげき

◆来賓挨拶

駐日外交団長	駐日サンマリノ共和国特命全権大使 マンリオ・カデロ閣下
東京空襲被災者代表	小峰 光弘様 (代理 小峰 ヒデ子様)

Memorial Ceremony Program



The 33rd Tokyo Metropolitan Peace Day Memorial Ceremony

- ◆ **Date and time** Friday, March 10, 2023 2:00PM - 3:15PM
- ◆ **Venue** Tokyo Metropolitan Government Building No.1
5th Floor, Main Conference Hall
- ◆ **Program** 1:00PM Open
 2:00PM Memorial Ceremony
 2:30PM Intermission
 2:45PM Memorial Concert

※ Live broadcast on the Internet
(Tokyo Metropolitan Government Official Video Channel)

Memorial Ceremony

◆ **Silent Prayer**

◆ **National Anthem of Japan**

◆ **Greetings from the Organizers**

Governor of Tokyo

Koike Yuriko

President of the Tokyo Metropolitan Assembly

Miyake Shigeki

◆ **Messages from the Distinguished Guests**

Dean of the Diplomatic Corps in Japan

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Republic of San Marino

H. E. Mr. Manlio CADELO

Representative of the Tokyo Air Raid Victims

Mr. Komine Mitsuhiro

Ms. Komine Hideko

(Attending on behalf of Mr. Komine)



主催者挨拶



東京都知事

小池 百合子

本日ここに、御遺族の皆様、都民の皆様、御来賓の皆様をお迎えし、「第33回東京都平和の日記念式典」を執り行うに当たりまして、ご挨拶を申し上げます。

東京は、先の大戦で、度重なる空襲により甚大な被害を受けました。中でも、昭和20年3月10日、下町地区を中心に襲った大空襲では、一夜にして10万人ともいわれる尊い命が奪われました。

当時の悲惨な光景と、家族や友人を失った深い悲しみは、今なお、被災した方々の心の中に、忘れ難いものとして、深く刻み込まれています。

犠牲となられた方々の御無念と御遺族の皆様の深い悲しみに思いを致しますと、改めて戦争の残酷さ、悲惨さを考えずにはおれません。

私たちが今享受している平和と繁栄は、多くの尊い犠牲と先人たちの懸命の努力の上に築かれたものがあります。戦争を経験したことがない世代が大半を占める今、悲惨な記憶をしっかりと次の世代に語り継ぎ、平和の大切さを伝えていかなければなりません。

東京都は、平和の意義を確認し、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓い、3月10日を「東京都平和の日」と定め、記念行事を実施しております。

都立横網町公園内には、祈念碑を建設し、その内部には東京空襲で犠牲になった方々のお名前を記録した「東京空襲犠牲者名簿」を納めております。

本年は、新たに103名の方々のお名前を追加し、合計81,428名の方々が登載されました。

世界は今、激動の中にあります。ロシアのウクライナ侵攻をはじめ、地域紛争やテロなど、恒久平和の実現には程遠い状況でございます。新型コロナウイルス感染症、気候危機、自然災害といった脅威にも直面しています。この難局を乗り越え、平和な世界を未来に引き継いでいくことは、私たちの責務であります。

私は都知事として、東京を、誰もが自分らしく暮らせる持続可能な、希望あふれる都市へと進化させ、世界にも貢献していくことをお誓い申し上げます。

犠牲となられた方々の御冥福と御遺族の皆様の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げ、私の挨拶といたします。

主催者挨拶



東京都議会議長
三宅 しげき

本日ここに、ご遺族をはじめ、平和を願う都民の皆様とともに、第33回「東京都平和の日」記念式典を執り行うに当たり、東京都議会を代表して、ご挨拶申し上げます。

東京は、惨烈を極めた先の大戦で、度重なる空襲を受け、昭和20年3月10日の大空襲では、一夜にして焦土と化し、多くの都民の命が失われました。

終戦から78年の歳月を経た今もなお、先人たちの犠牲の重さは、私たちの心の碑に強く刻み込まれています。戦後、人々の弛みない努力により、我が国は、今日の平和と繁栄を築いてまいりました。

先人たちの多くの苦難に満ちた歩みを思うとき、この平和と繁栄の陰に、戦渦に倒れた多くの方々の尊い犠牲とご遺族の皆様の御労苦があることを決して忘れてはならないと想いを新たにしました。

そして、私たちは、悲惨な戦争から得た教訓を後世に語り継ぐとともに、平和を願う心を未来へと継承していかなければなりません。

こうした中、世界に目を向けると、ロシアによるウクライナへの侵攻をはじめ、依然として政治・経済・軍事にわたる国家間の衝突が絶えず、平和を脅かす状況が見られます。

今年5月には、広島でG7サミットが開催されますが、国際的な相互理解や友好関係をこれまで以上に深め、世界が直面する様々な課題に取り組み、安寧な社会を築き上げていくことが強く求められています。

東京都議会といたしましても、あらゆる人々がお互いを尊重し合い、将来への希望に満ち溢れ、心豊かに暮らせる社会を築き、未来永劫、継承していくことが、犠牲となられた方々に対する責務であると深く胸に刻み、恒久平和の実現に一層、尽力してまいります。

結びに、戦災で犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご列席の皆様のご健勝・ご多幸を心から祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



来賓挨拶



駐日外交団長
駐日サンマリノ共和国特命全権大使
マンリオ・カデロ閣下

各国大使閣下はじめご来賓、ご列席の皆様、

駐日外交団を代表し、私はこの機会に、世界最大の首都東京で非常に優れた行政を行っておられる小池百合子都知事に賞賛の意を表したいと存じます。

現在、私たちの世界では、非常に嘆かわしく悲惨な戦争が起きています。これは、外交的な交渉と歩み寄りによって回避できたはずの戦争です。この戦争は、世界各地で数々の環境問題や経済問題を引き起こし、何よりも、人々に苦しみをもたらしています！

私たちはすでに、世界中で多大な人的被害をもたらした新型コロナウイルス感染症によっても、大きな痛手を負っています。一部の国々では今なお、早急な解決策がないまま感染が続いています。

日本は、戦争がいかに悲惨で、取り返しのつかない被害をもたらすかをよく知っており、あらゆる戦争・紛争を終結させるべく他の国々とともに奮闘し、世界平和のために多大な資金と労力を投じているのです！

世界には204の国が存在しますが、残念ながら、そのうち約10カ国は独裁国家とされています。国民はある種の独裁者による理不尽な支配に日々苦しめられ、不幸な境遇を強いられています。これらの国々は、さまざまな面で世界最大の問題を抱えています。こうした問題は、国の指導者が強欲で利己的な人物ではなく、自由、公正、そして平和という民主主義の基本原則を受け入れる理性的な人物であれば、たやすく回避できた問題なのです。

皆様、こうした国々が理性的で公正な考えを持つようになり、世界が一つの円満な大家族として平和と調和を実現できるよう、ともに力を合わせて頑張りましょう！

ご清聴ありがとうございました。

Messages from the Distinguished Guests



Dean of the Diplomatic Corps in Japan

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Republic of San Marino

H. E. Mr. Manlio CADELO

Esteemed guests Ambassadors Ladies and Gentlemen, I would like to take this opportunity to congratulate in behalf of all my Colleagues Her Excellency Governor KOIKE for her very good administration for the management of the largest city capital in the world, TOKYO.

At present a very deplorable and horrible war is going on in our world, a war which could be avoided by Diplomatic negotiations and compromises. This war is causing many problems worldwide of environments, economy, and above all of human suffering!

We were already very much penalized by the covid pandemic which caused so many damages to world population and still this pandemic is going on in some countries with no quick solution.

Japan knows well how wars are terrible which cause irreparable damages and together with many other countries is fighting to stop any kind of wars, conflicts, spending great money and efforts for world peace!

In our world there are 204 countries, but unfortunately about 10 countries are considered ONE MAN (dictatorial) country with a population not happy, suffering daily unfair rules decided by one kind of dictator, these countries are the world biggest problems in many ways which could be easily avoided if their leaders would not be greedy, selfish, but rational and accept the basic democratic rules of freedom, justice and PEACE.

Let's all together work and fight to make these countries reasonable fair to joint world Peace and Harmony together as a big peaceful family!

Thank you very much for the kind attention, I am

Yours respectfully



来賓挨拶



東京空襲被災者代表

小峰 光弘様

(代理 小峰 ヒデ子様)

私は昭和12年(1937年)生まれ、現在86歳です。当時私の住んでいた町には東洋一と云われた飛行機(戦闘機)のエンジン製造工場、中島飛行製作所の本社工場がありました。我が家の近所には大きな家族寮があり毎朝大勢の社員が出勤して行きました。我が家でも上の姉がその社員でした。

昭和19年11月23日、その工場に敵の爆撃機(B29)の大編隊が襲来し大規模な空爆を受けました。初めての空爆でしたので敵も日本の戦闘機の迎撃を受けないよう高度8千メートル辺りからの爆弾投下でした。風の影響もあり7割程は北の方(現在の西武新宿線田無駅北側あたり)に落下したそうです。

この辺りは当時農家が多かったのでかなりの犠牲者が出たそうです。当の中島飛行機工場も多数の負傷者が出て午後になって家の前をリヤカーに乗せた負傷者を同じ中島の荻窪病院に運ぶ人達を数多く見かけるようになりました。その人たちが、もう工場は修羅場だと話していました。いつもは夕方6時頃帰宅する姉が夜8時を過ぎても帰ってきません。家族で姉は空爆で死んだのではないかと心配しておりました。夜9時ごろのことです、女学校2年生の下の姉が「表に誰か立っている」とこわごわ入口を指しました。そこに立っていたのは上の姉でした。頭と顔は埃と砂だらけ、衣服は土と血で汚れていました。でも本人は怪我をしている様子はありません、急な空襲で怪我をした同僚を抱いたり救護したりしたためと分かりました。部屋に連れてきても目はうつろ、変わり果てた同僚の姿を直接見たショックが大きかったのでしょう。

その後、女子社員には5日程の休暇が出たそうですが、姉は警戒警報のサイレンが鳴るたび耳を覆ってしゃがみ込んで震え「そんな所に立っていると爆弾が落ちてきてみんなやられちゃうんだよ」と叫び精神状態がおかしくなった他人のように見えました。姉は3日程で正常に戻りましたが、人間同士が殺し合う戦争は絶対してはいけないとその時強く感じました。

昭和19年6月ごろのある日、友達と数人で連れ立って学校からの帰路、東の方から低空で戦闘機が近づいてきました。かなり低空だったのでびっくり日本の飛行機だと思っていたところ、頭上を通り過ぎた時、上級生が「あの翼の印は日の丸じゃないぞ、星の印だ」と言いました。そうです(F-4U)だったのです。「あの飛行機すぐ反転して来るぞ、みんな隠れろ!」と上級生が叫びました。私以外はすぐ隣の麦畑に逃げ込みました。でも私は200mほど先に我が家が見えるので家に向かって走り出しました。反転した敵機は私めがけて機銃を撃ってきました。あの高度なので私が子どもだと分かったのでしょうか。少し狙いはずしてきたと思います。地面に伏せた瞬間1.5メートル程右側を高さ30センチメートル程の土埃が上がりました。あまりの怖さに起き上がれませんでした。敵機はそのまま北の方へ飛び去って行きました。数分後、友達たちは恐る恐る麦畑から出てきました、倒れたままの私を見て、てっきり撃ち殺されたものと思ったそうです。あの戦争で私の一番怖かった思い出です。

8月15日の夜は久々に黒い覆いのない電球の下で本を読めることがとてもうれしかったことを今でもはっきり覚えています。

8月16日には朝からあの怖かったB-29爆撃機が下から日本軍が攻撃してこないためか低空飛行で何回も我が家の上空を飛んでいきました。アメリカ軍も終戦を喜んでいるのだらうと思いました。本当はどこの国の人間も戦争は嫌いなのだとその時心から思いました。この世界から戦争が無くなる事を願って結びの言葉とさせていただきます。ありがとうございました。



会場全景



黙とう



東京都知事挨拶



東京都議会議長挨拶



駐日外交団長挨拶



東京空襲被災者代表挨拶（代読）



登壇者（主催者）



登壇者（来賓）

式典等風景



バス受付風景（横網町公園）



バス乗車風景（横網町公園）



式典受付風景



式典受付風景



会場風景（ロビー）



会場風景



記念演奏



第33回東京都平和の日記念演奏
「追悼と平和への祈り」
～東京都交響楽団メンバーによるアンサンブル～

- ◆日時 令和5年3月10日(金) 午後2時45分～午後3時15分
- ◆場所 東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場
- ◆演奏 東京都交響楽団

プログラム

- ◆J.S. バッハ：
主よ人の望みの喜びよ
- ◆モーツァルト：
ディヴェルティメント 二長調 K.136より第1楽章
- ◆ボロディン：
弦楽四重奏曲第2番 二長調より第1楽章
- ◆岡野貞一作曲、いとうたつこ編曲：
ふるさと
- ◆團伊玖磨作曲、飯吉高編曲：
花の街

Memorial Concert Program



The 33rd Tokyo Metropolitan Peace Day Memorial Concert

"Mourning and Pray For Peace"

By the Members of the Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

- ◆ **Date and time** Friday, March 10, 2023 2:45PM - 3:15PM
- ◆ **Venue** Tokyo Metropolitan Government Building No.1
5th Floor, Main Conference Hall
- ◆ **Performer** Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

Program

- ◆ J.S.Bach:
Jesu Joy of Man's Desiring

- ◆ W.A.Mozart:
Divertimento in D Major, K. 136
from I. Allegro

- ◆ A.Borodin:
String Quartet No.2 in D Major
from I. Allegro moderato

- ◆ T.Okano: Furusato "My Home Town"

- ◆ I.Dan: Hana no Machi "Town of Flowers"



記念演奏



公益財団法人 東京都交響楽団 プロフィール

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立(略称: 都響)。歴代音楽監督は森正、渡邊暁雄、若杉弘、ガリー・ベルティニー。現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。

定期演奏会を中心に、都内小中学生への音楽鑑賞教室、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏、福祉施設への訪問演奏の他、2018年からは、誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる“サラダ音楽祭”を開催するなど、多彩な活動を展開している。受賞歴に、「京都音楽賞大賞」(第6回)、インバル指揮「ショスタコーヴィチ:交響曲第4番」でレコード・アカデミー賞<交響曲部門>(第50回)、「インバル=都響新・マーラー・ツィクルス」で<特別部門:特別賞>(第53回)など。

CDリリースは、上記のほか、交響組曲『ドラゴンクエスト』(全シリーズ)や『Fate/Grand Order』などのゲーム音楽まで多岐にわたる。

「首都東京の音楽大使」たる役割を担い、これまで欧米やアジアで公演を成功させ、国際的な評価を得ている。2015年11月には大野和士の指揮でヨーロッパ・ツアーを行い、各地で熱烈な喝采を浴びた。2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、《オリンピック讃歌》の演奏(大野和士指揮/録音)を務めた。

公式ウェブサイト <https://www.tmsso.or.jp/>

出演者

第1 ヴァイオリン : 蔭井 清夏

第2 ヴァイオリン : 田中 雅子

ヴィオラ : 萩谷 金太郎

チェロ : 長谷部 一郎

記念演奏

